

# 話 題

# ま ち の

## 「こそ農協が「協同の力」を 最大限に発揮する時

### 青年農業会議が 農協運営に提言

一月三十日、青年農業会議では市内四農協の組合長を囲み、座談会を行いました。これは、同会議が一月下旬、各農協に対して「農協運営に関する提言」を行ったのに基づき、トップの生の声を聞きながら意見交換をしようとしたもの。会場となった青年教育センターでは営農指導を中心に、合併問題や嫁婿対策など、熱のこもった話し合いが続けられました。

#### 営農指導の充実を

農協の営農指導事業については、農家と直結するだけに、より具体的な要望が多く出されました。

青年農業会議からは、専門化した農業経営や農業技術に対する指導の遅れや低下、指導員の質的な問題、営農指導員が購買や共済などの事務に追われてじゅうぶんな指導ができない、などの意見が出され、農協の根本は営農指導にあるとの指摘がありました。

また、農協と組合員との結び付きが希薄になり、特に若者の農協離れが問題になる中で「業者は手を真つ黒にして指導してくれるのに、農協の職員の手は真つ白だ」「普及

所が統合縮小され、やはり農協が頼りなのだから、しっかりと指導してほしい」という率直な意見も出されました。

それに対して農協側からは「営農事業の重要性はじゅうぶん認識しており、指導員の数を増やすだけではなく、人間性を重視した職員教育をしなから、質を向上させていきたい」との答えがあり、「物を売る前に自分を売れ」というセルブスのポイントが営農指導員にも通じるとの反省もありました。

青年農業会議の原会長は「農協が我々のニーズに対応し切れていない面があります。農産物は我々にとつてたいせつな商品です。指導員もそういった気骨を持って、きめ細かな指導をしてほしい。また、我々自身も地域エゴ、個人エゴを出さない努力が必要だ」と述べていました。

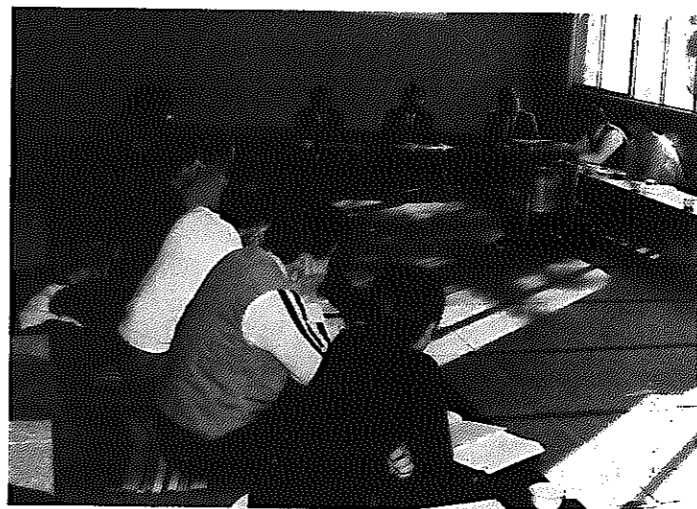
#### 農協合併に向けて努力

経済情勢の変化に伴い、最近特に機運が高まってきた農協の合併問題についての質問に、白根市農協の細河組合長は、「昨年八月に作られた組織整備協議会は、十二月に驚巻農協の参加を得て四農協の足並みがそろ

い、市長にも協力を要請。組合員のニーズに応えるためにも組織強化は必要で、事務的には平成三年をめぐりに準備中です。ようやく一行政一農協に向けて歩き始めたところなので組合員の理解を求めながら大同団結していききたい」と答えました。

して、庄瀬の切り花出荷組合の例が上げられ、市場の優位性を高めるためにも一日も早い合併をという声が出されました。

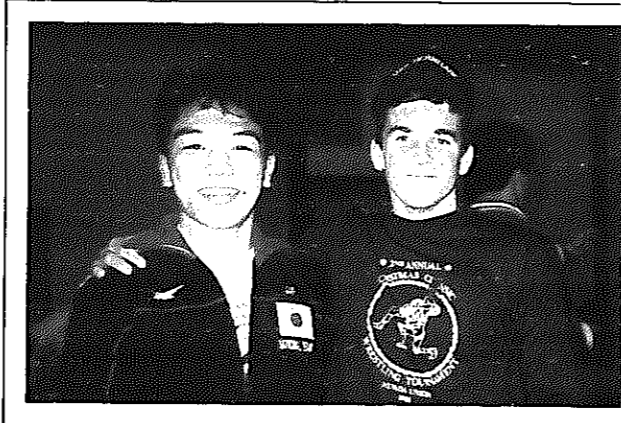
参加者からは、合併に伴う流通センターの建設など、積極的な意見や要望が出され、活発な意見交換が続いていました。



営農指導のあり方、農協の合併など熱のこもった話し合いは約3時間に及んだ

#### ✪ 国遠征で七戦全勝 レスリング 林雄一君

日米親善高校レスリング大会の本チーム代表に、林雄一君（巻農高三年・古川）が選ばれ、一月三日から二十一日まで、米国カリフォルニア州内各地を転戦しました。先の世界選手権に次いで二回目の海外遠征のため、余裕を持って試合に臨めたそうで、戦績は七戦全勝。「米国の選手は、腕力はあるが足腰が弱い」と頼もしい発言。卒業後、日体大でレスリングを続ける林君は、三月半ばから、もう大学の合宿に参加とのこと。「目標は、やっぱリオリンピック」と自分に言い聞かせるように語ってくれました。

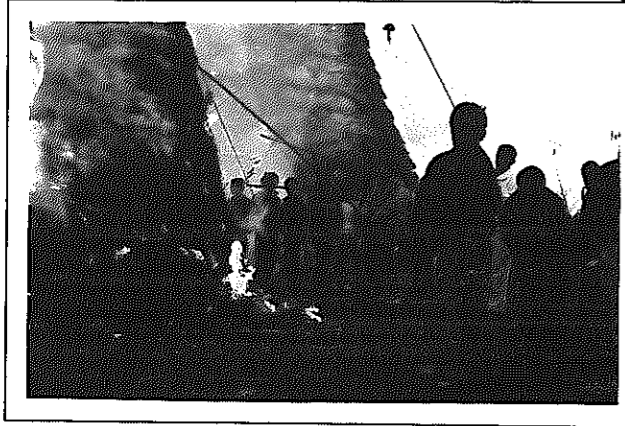


#### 16年の歴史にピリオド 白井さいの神まつり

「さいの神まつり」が、大通団地で一月十五日、白井部落で二月十一日にそれぞれ行われました。

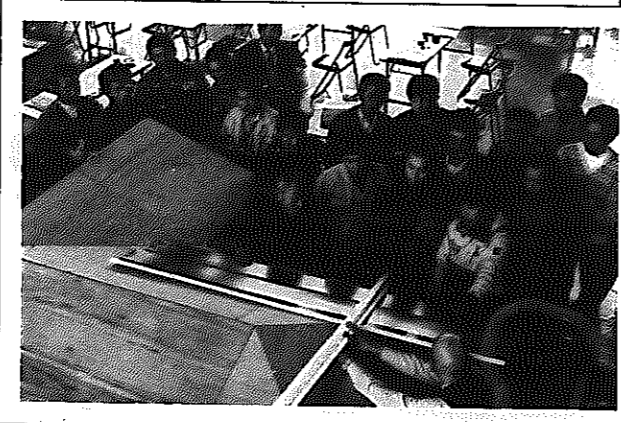
白井部落では、今年十六回目を迎えます。午後四時半ころから、しめ飾りやだるま、するめなどを手にした親子連れなどがぞくぞくと集まります。役員さんが前日から製作したさいの神は、男の神様が約五・七尺、女の神様が約三尺もあります。火がつけられると子どもたちから大歓声。

このさいの神まつり、住宅密集などのため、今年が最後とのこと。子どもたちからは「なんで止めるん」と残念がる声が上がっていました。



#### ✪ 営者としての自覚を 市板金工業組合 実技講習会

市板金工業組合と中ノ口川沿線経済振興協議会では、二月三、四日の二日間、「これからの板金業界と新素材」をテーマに、実技講習会を開きました。会場の産業厚生会館には四十人を超す受講者が集まり、大阪から駆けつけた淀川製鋼所の志方盛弘氏らの指導を受けました。冒頭に「これからの業界は昔ながらの職人気質ではいけない。経営者としての自覚を忘れずに」とのアドバイス。次々と開発される新素材、変化する住宅設計に、お客様のニーズに対応した知識、技術を、熱のこもった講習会になりました。



#### 鬼と仲よく遊んだよ 市内保育園 節分豆まき

節分の二月三日、市内の保育園では、泣き虫鬼や意地悪鬼をやっつけると、元気に豆まきが行われました。

新飯田保育園では、新飯田商工会青年部のふんする七匹の鬼が、歌えや踊れの大騒ぎ。疲れて眠った鬼たちには、園児たちが「福は内、鬼は外」と力一杯豆をぶつけます。鬼たちは「いい鬼になるからいっしょに遊んでください」と、お菓子などの宝物を差し出し、園児たちも大喜び。

このほか、連合青年団ふんする鬼たちも、市内十一か所の保育園を訪れ、良い子たちの鬼退治に一役買っていました。

